

トラブルシューティングガイド

BF115JK1, BF135DK1, BF150DK1

目次

- ブザーが鳴る／表示灯が点灯する
- エンジンが始動しない
- エンジンは始動するが止まる
- 船外機が落水した場合の対処
- 非常時のシフトのしかた（DBWモデル）

このトラブルシューティングガイドは、お買いあげの船外機に付属している取扱説明書の説明内容を補助するものです。不明な点については、取扱説明書を参照してください。当ガイドの写真に映っている船外機は、お手持ちのモデルと異なる場合があります。当ガイドをお手元のデバイスにダウンロードし、いつでも見られるようにしておくことをお勧めします。

WEBマニュアル／取扱説明書PDF

<https://www.hondapps.com/>

警告装置の作動

油圧警告装置

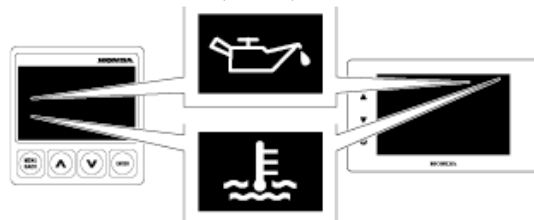
エンジンオイルの油圧低下を表示灯とブザーで知らせます。

オーバーヒート警告装置

エンジンのオーバーヒートを表示灯とブザーで知らせます。

マルチファンクションディスプレイ

油圧警告表示灯（赤色）+ブザー連続音



オーバーヒート警告表示灯（赤色）+ブザー連続音

メカモデル用リモートコントロール

オイル循環表示灯（消灯）+ブザー連続音



オーバーヒート警告表示灯（赤色）+ブザー連続音

これらの異常時にはエンジン回転数が徐々に低下して不安定になり、エンジン回転を上げることができなくなります。また、オーバーヒート時には約20秒でエンジンが停止します。

異常な状態が解消されると徐々にエンジン回転が上がるようになります。

PGM-FI 警告装置

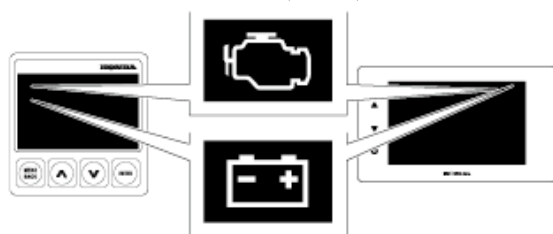
PGM-FI（電子制御燃料噴射装置）の異常を、表示灯とブザーで知らせます。

ACG 警告装置

AC ジェネレーター（交流発電機）の異常を、表示灯とブザーで知らせます。

マルチファンクションディスプレイ

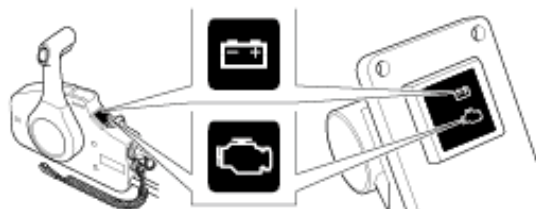
PGM-FI警告表示灯（赤色）+ブザー断続長音



ACG警告表示灯（赤色）+ブザー断続長音

メカモデル用リモートコントロール

PGM-FI警告表示灯（赤色）+ブザー断続長音



ACG警告表示灯（赤色）+ブザー断続長音

ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルター 警告装置

ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルターのカップ内に水がたまると、断続短音のブザーで知らせます。

ワーニングレベル

作動した警告装置の警告レベルが表示されます。

- ・ Warning Level 1：特に注意が必要な場合
- ・ Warning Level 2：Level 1以外の場合



パワーリダクション機能

オイル油圧の低下やオーバーヒートなど、船外機に問題が発生した場合、エンジンを保護するために、エンジン回転数を制限する機能です。

2つのリモートコントロールセンサーのうち一つに異常が発生した場合は、パワーリダクション機能によるエンジン回転数の制限は行われません。

その他の通知

バッテリースイッチ OFF 通知機能

バッテリースイッチの入れ忘れおよびエンジンスイッチ／パワースwitchの切り忘れを通知する機能です。以下の場合にバッテリースイッチがOFF になっていると、ブザーが短く3回鳴ります。

- エンジンを始動するとき
- パワートリム／チルトスイッチを押したとき
- エンジンスイッチまたはパワースwitchが“ON”のままバッテリースイッチをOFF にしたとき

警告装置作動時の対処



油圧警告表示灯が点灯した／オイル循環表示灯が消灯した

1. すぐエンジンを止め、エンジンオイルの量を確認してください。
2. エンジンオイルの量が正常である場合は、エンジンを再始動し約30 秒間低速で運転します。再び警告装置が作動しなければ異常ではありません。
3. 30 秒間低速運転をしたあと、警告装置が作動しつづける場合は低速で帰港し、お買いあげ販売店またはサービス指定店に整備を依頼してください。



オーバーヒート警告表示灯が点灯した

1. ただちにコントロールレバーを“N”（中立）にし、検水口から、勢いよく冷却水が出ているか確認してください。
2. 冷却水が正常に出ている場合は、約30 秒間アイドリングで運転してください。再び警告装置が作動しなければ異常ではありません。
全速力で航走したあと急激にエンジン回転をおとすと、一時的にエンジンの温度が上がり警告装置が作動することがあります。また全速力で航走したあと、すぐにエンジンを停止し、再び始動するとエンジンの温度が上がり装置が作動することがあります。
3. 30 秒間アイドリングで運転しても、警告装置が作動し続ける場合はエンジンを停止し、吸水口に異物がつまっていないか確認してください。異物がつまっていない場合は低速で帰港し、お買いあげ販売店またはサービス指定店に整備を依頼してください。



ACG 警告表示灯が点灯した

バッテリーの接続を点検し、異常がなければ、お買いあげ販売店またはサービス指定店にご相談ください。



PGM-FI 警告表示灯が点灯した

PGM-FI 警告表示灯が点灯してブザーが鳴り止まない場合は、シフト操作不可、アラート検出不可、始動不可につながる恐れがありますのですぐに低速で帰港し、お買いあげ販売店またはサービス指定店に整備を依頼してください。

PGM-FI 警告表示灯が点灯してブザーが10 秒間だけ鳴った場合は、エンジン回転数制御、機能制限がかかりますのでなるべく早く低速で帰港し、お買いあげ販売店またはサービス指定店にご相談ください。

ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルター警告ブザーが鳴った

取扱説明書、またはメンテナンスのスライドショーを参考に、水を取り除いてください。

<https://www.hondapps.com/>

燃料系統の不良

考えられる原因	対処
燃料タンクに燃料がない。	給油する。 - 対処方法の参照は https://www.hondapps.com/
劣化ガソリンを使用している	新鮮なガソリンと交換する。 - 対処方法の参照は https://www.hondapps.com/
燃料ホースの折れ曲がり	折れ曲がりをなおす。
船体側燃料タンクフィルターが詰まっている	清掃する。 (船体の取扱説明書を参照)
劣化ガソリンを使用している	新鮮なガソリンと交換する。 - 対処方法の参照は https://www.hondapps.com/
ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルターが詰まっている	ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルターを交換する。  - 対処方法の参照は https://www.hondapps.com/

電気系統の不良

スターターモーターは回るがエンジンが始動しない

考えられる原因	対処
非常停止スイッチクリップの取付け不良	クリップを確実に取付ける。
イグニッションコイルの取付け不良	イグニッションコイルを確実に取付ける。  - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/
点火プラグの締付け不良	点火プラグを確実に締付ける。  - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/
点火プラグの汚れ	清掃するか、交換する。 - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/
点火プラグの破損	交換する。  - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/
点火プラグの火花すき間の不良	調整するか、交換する。 - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/

スターターモーターが回らない

考えられる原因	対処
シフトレバーまたはコントロールレバーが“N”（ニュートラル）になっていない	レバーを“N”（ニュートラル）にする。
ヒューズが切れている	ヒューズを交換する。  - 対処方法の参照は https://www.hondapps.com/
バッテリーが充電されていない	充電または交換する。
バッテリー端子が接続されていない	バッテリー端子を接続する。 
バッテリー端子が腐食している	バッテリー端子を清掃する。  - 対処方法の参照は https://www.hondapps.com/

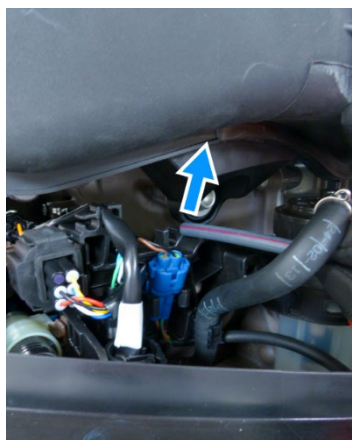
考えられる原因	対処
燃料タンクに燃料がない	給油する。
船体側燃料タンクフィルターが詰まっている	清掃する。 (船体の取扱説明書を参照)
ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルターが詰まっている	ウォーターセパレーター 一体型燃料フィルターを交換する。  - 対処方法の参照は https://www.hondappsv.com/

水没した船外機は、腐食を最小限にとどめるため、できるだけ早く分解・整備をおこなってください。
サービス店が近くにある場合は、直ちにお持ちください。
サービス店が近くにない場合は、次に示す整備を行ってください。

ステップ 1 – 船外機の洗浄

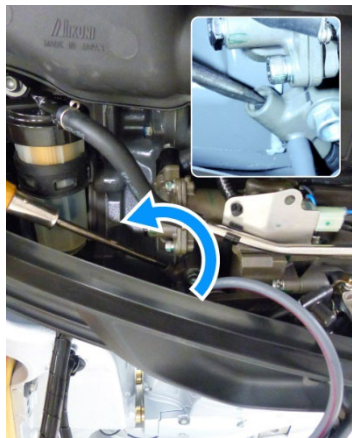


- 1.きれいな水でエンジンを洗浄し、海水、砂、泥などを洗い流します。



2. ドレンチューブをエンジン側のクランプから外します。

ステップ 2 – 燃料を抜く



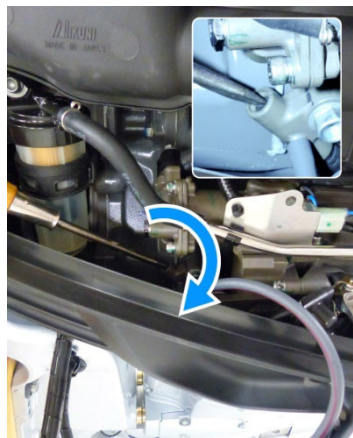
3. ベーパーセパレーター
のドレンスクリューを
ゆるめます。ドレン
チューブから燃料が流
れ出したらチルトアッ
プの状態にします。



4. 適切な排油受けをドレ
ンチューブ下にセット
し、燃料を受けます。



5. チルトダウンして、船
外機を垂直状態に戻し
ます。燃料をすべて適
切な容器で受けます。



6. 燃料が出終わったらドレンスクリーナーを締付けます。



7. ドレンチューブをクランプに戻します。

ステップ 3 – エンジンシリンダーの水を抜く



8. 非常停止スイッチクリップを外します。



9. 点火プラグを取り外します。

10. エンジンをクランキングしてシリンダー内の水を排出します。

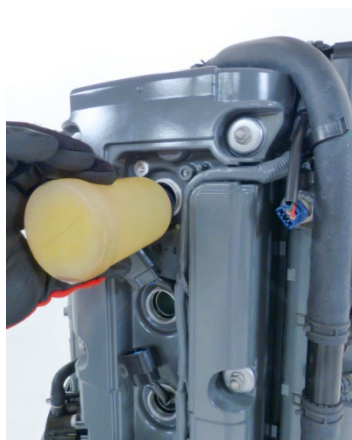
エンジンスイッチ装備仕様

- エンジンスイッチを“START”（始動）の位置にて、シリンダー内の水を完全に抜きます。

スタートストップスイッチ装備仕様

- パワースイッチキーを“ON”（運転）の位置にまわし、スタートストップスイッチを押して、シリンダー内の水を完全に抜きます。

ステップ 4 – エンジンシリンダーにオイルを注入



11. 点火プラグ穴からスプーン1杯ほどのエンジンオイルを注入します。

12. エンジンをクランキングしてシリンダー内にエンジンオイルを行き渡らせます。

エンジンスイッチ装備仕様

- 点火プラグを外した状態で点火プラグ取付け穴を布で覆います。
エンジンスイッチを“START”（始動）の位置にて、シリンダー内にエンジンオイルを行き渡らせます。

スタートストップスイッチ装備仕様

- 点火プラグを外した状態で点火プラグ取付け穴を布で覆います。
パワースイッチキーを“ON”（運転）の位置にまわし、スタートストップスイッチを押して、シリンダー内にエンジンオイルを行き渡らせます。

13. 外した部品を取り付けます。

コントロールレバーでシフト操作ができなくなった場合は、以下の手順でシフト操作ができる場合があります。以下の手順でシフト操作をおこない、低速で帰港し、サービス店にご相談ください。

1. コントロールレバーを“N”（ニュートラル）の位置にします。



2. エンジンカバーを取り外します。



3. 付属工具の⊕ドライバーにグリップを取り付け、シフトピボットの穴に差し込みます。

4. シフトピボットを動かして、“N”（ニュートラル）の位置にします。
 - 差し込んだ工具の先端側を握り、力の入れやすい安定した体勢で操作してください。
5. エンジンを開始します。
6. シフトピボットを動かして、“F”（前進）または“R”（後進）の位置にします。

